

事務事業名 子育て教室開催事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1271

施策：	01	子育て支援の推進	財務コード	01030210-02-268
基本事業：	05	地域における子育て支援の推進	担当部	こども部
基本事業の 成果指標	子育てサロンの実施回数		担当課	こども政策課
			担当係	給付・支援担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成02年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
乳幼児と子育て中のその保護者		子育て支援センター職員が、市内の公共施設にて親子教室等を開催。 親子教室（生涯学習センター（軽運動室）にて開催） ・あそびの広場：月齢に応じたクラスで実施（年9回） ・誕生会：0歳～就学前の子どもと保護者（年12回） 子育てサロン（各コミセン、生涯学習センター、かみりや、市役所にて開催） ・パパサロン：0歳～就学前の子どもと保護者（年10回） ・もこもこタイム：0歳～就学前の子どもと保護者（年81回） ・赤ちゃんタイム：2か月～11か月の子どもと保護者（年28回） ・ふれあいサロン：0歳～就学前の子どもと保護者（年44回） 子育て講習会 ・子育てに関する講習会を市内で開催：年10回、 【根拠法令】子ども・子育て支援法、【補助金】子ども・子育て支援交付金（地域子育て支援拠点事業費補助金）（国・県・市 各1/3）				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		子どもの遊び場、保護者同士の交流の場、親子の触れ合いの場としてサロン等を開催することで親子の居場所づくりができています。				
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
親子教室参加者数	人	656	467	500	500			800
子育てサロン参加者数	人	5,550	5,300	5,550	6,000			6,000

5. コスト								
事業費	計	千円	151	168	171	171		
	国	千円	50	56	57	57		
	県	千円	50	56	57	57		
	地方債	千円	0		0	0		
	その他	千円	0		0	0		
	一般	千円	51	56	57	57		
正職員人工数	人工	0.2	0.2	0.3				
正職員人件費	千円	1,563	1,605	2,514				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	1,714	1,773	2,685	171			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	<状況> 親子教室の参加者数及び子育てサロン参加者数は共に微減した。 <原因> 従来のまなびの広場からあそびの広場及び誕生会へと親子教室のあり方をリニューアルしたことが大きな要因となっている。また、地域サロンが開催されていない山家及び山口地区で令和6年度から出張サロンを開始したことで、サロンの開催数は増えている状況であるが、サロンの参加は地域で偏りがあること、0歳児の人数が減少していることから参加者数が減少したと思われる。令和6年度からの見直しであるため、今後もその状況を注視しながら必要に応じて検討を重ねていく。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）					

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
少子化や核家族化の進行、地域との関わりが薄れるなど、「同年代の子どもと親との交流を求める親」や「あそび場を求める親」が増加している。	